



The Weekly Report of SUNAGAWA RC

砂川ロータリークラブ会報

■ 本日は10月13日(水) 第2463回例会 ■

ゲスト卓話 青少年奉仕委員会担当
「みんなのすながわプロジェクト」について
(株)シロ 田伏清己室長

※RCレート 10月1日より 1\$ 112円

■ 次週の予定 ■

10月20日(水) 地区大会報告 沢田広志副会長担当
第2464回
10月27日(水) 会員卓話 相談役担当
第2465回 新ポスト「相談役」を委託されて
小林公民相談役

第2462回例会記録 2021年(令和3年)10月6日(水) 晴れ「四つのテスト」唱和「君が代」「我等の生業」音楽のみ

- ・ゲスト紹介 本日はいらっしゃいません。
- ・ビジター紹介 本日はいらっしゃいません。

会長報告

会長 永森 直弘

- ①ロータリー日本財団より寄付金明細書が届いております。
- ②ロータリー米山記念奨学会より
2020年度事業報告書と決算報告書
2021-2021豆辞典
2021-2022クラブ米山記念奨学委員長の手引き
2021-2022米山寄付金マニュアルが届いております。
- ③ロータリー日本事務局より在宅勤務延長のお知らせが届いております。
- ④砂川自立センターより毎年10月に開催しているワイワイ祭りはコロナ禍の為、中止のお知らせが届いております。
- ⑤第2510地区ガバナー事務所より佐賀 長崎豪雨災害義捐金のお願いが届いております。

幹事報告

幹事 山田 大

- ①留萌 RC 羽幌 RC 滝川 RC 深川 RC
芦別 RC 赤平 RC より10月例会のお知らせが届いております。
- ②芦別 RC より会報が恵送されております。

本日例会終了後に理事役員会を行いますのでよろしく願いいたします。

委員会報告

青少年奉仕委員会 委員長 山内 勝人
来週10月13日(水)にペンケ歌志内さくらづつみ記念植樹事業を行います。 時間は10時30分からです。
さくら保育園の年長さん16名と一緒に植樹を行う予定ですので、皆様の参加、よろしく願い致します。

社会奉仕委員会 委員長 西川 公平
先日の赤い羽根共同募金では、ご協力を賜り誠にありがとうございました。 また、来る10月20日にリンゴ詰めを予定しております。 何卒ご協力をお

願いいたします。

ロータリー財団・米山記念奨学会

委員長 松原 重俊

本日、米山記念奨学会に
水島孝嗣会員、石家裕二会員、永森直弘会員、大橋俊彦会員、松原重俊会員、高橋俊美会員、飯澤明彦会員より 12,000円、武田昭二会員より 10,000円のご寄付をいただきました。有難うございました。
ロータリー財団へ
武田昭二会員より 100\$のご寄付をいただきました。 有難うございました。

四大祝福

会員誕生記念 飯澤明彦会員、造田孝志会員
香山素子会員
夫人誕生記念 沢田広志会員、信太英樹会員
創業記念 染谷 昇会員、造田孝志会員
結婚記念 小林公民会員、沢田広志会員
信太英樹会員、阿部憲道会員
湯浅克己会員

例会

会員卓話

ロータリー財団・米山委員会担当

「ロータリー米山記念奨学事業について」

委員長 松原 重俊



いつもロータリー財団、米山記念奨学事業にご理解を頂いておりますことに感謝を申し上げます。ロータリー米山記念奨学会は、1952年に東京ロータリークラブが「米山記念」として始めた外国人留学生を支援する民間最大の奨学団体です。「日本のロータリーの創始者・米山梅吉氏の偉業を記念し、後世に残る事業を立ち上げたい」という東京RC会員たちの思いは瞬く間に日本全国へ広がった。57年には全国組織「ロータリー米山奨学委員会」が結成され、60年に現在の名前に改称。そして67年、悲願だった財団法人となった。現在は公益財団法人となり、国内のロータリー全地区の共同プロジェクトとして、存在感を発揮している。ところでなぜ外国人留学生支援なのか。米山奨学史には次のように書かれている。「将来の日本の生きる道は平和しかない。その平和日本を世界に理解させるためには、アジアの国々から一人でも多くの留学生を日本に迎え入れて、平和日本を肌で感じてもらうしかない。それこそ、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないだろうか」。二度と戦争という悲劇を繰り返さないため、日本と世界の「懸け橋」となり、平和の種をまく人材を育てる米山奨学会の奨学金は、返済義務がない。

奨学生になるためのハードルは高く、担当教員の推薦は必須。それだけでなく、経歴、成績、そして異文化への理解を深めようとする意欲も問われる。倍率は3倍を超えるとされている。2017年度の奨学生数は、793人で、事業費は13億円となっている。これまで支援した奨学生数は累計で19,808人（17年7月現在）。世界125の国と地域からやってきた外国人留学生を支援してきた。最大の特徴は「世話クラブ・カウンセラー制度」だ。奨学生1人ひとりに地域のRCが務める「世話クラブ」が割り当てられ、その会員の一人が「カウンセラー」となり、日常的な相談役を担う。奨学生は月に1度、世話クラブの例会に出席。会員との交流を通じて、ロータリーの奉仕の精神を学ぶ。これが「米山奨学会は金だけではない」と言われる理由だ。一方で、奨学生からは「安心して勉強に集中できる」と高評価を得ている。また、厳しい条件をクリアして受けられるこの奨学金に対する「あこがれ」も持っているという。

国際ロータリー第2510地区は17年度、16人の奨学生を受け入れている。出身国は、中国・韓国・ウクライナ・マレーシア・インドネシア・シンガポール・モンゴル・ベトナムと多岐にわたる。彼らは盆踊り大会やボランティアイベントなど、地域の催しものにも積極的に参加してくれるという。当地区の米山記念奨学委員会では毎年研修旅行を開催。北海道の文化に直に触れるため、地元の酒蔵やものづくり企業を見学。また、カウンセラーとの交流を深め、より世話クラブに馴染んでもらうという狙いもある。

元・現奨学生によって組織されているのは「学友会」だ。現在、日本には33、海外に9、計42の

学友会が存在し、北海道にも一つある。学友会は奨学期間終了後も、ロータリーとの縁をつなぐ重要な役割を担っている。学友の中には、カウンセラーを自分の結婚式に呼んだり、世話クラブのある土地に、新婚旅行で訪れたりする人もいる。実際、第2510地区内のRCのあるカウンセラーは、台湾の学友の結婚式に出席したことがあるという。

歴史的にも、世界に類を見ない日本独自の事業を支えているのは、全国のロータリアンの定期寄付金と個人、法人、RCからの任意寄付です。皆様からの温かいご寄付は、このように有効に使われております。どうぞ今後とも皆様からの温かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

出席報告

委員長 瓜 俊雄

第2462回例会

※在籍数 39名 ※出席規定免除 3名

※本日出席基数 38名 ※本日欠席者数 4名

※本日出席率 89.47%

※本日欠席者 近藤俊継会員、藤田秀邦会員
佐藤文優会員、岩渕健悦会員

※メイクアップ

本日はいらっしゃいませんので前々回の

出席率 83.78%に変更はありません。

ニコニコボックス

※4週間ぶりに例会を再開できる。このままの状態が続くことを祈ります。 ○永森直弘会長

※夫人誕生、結婚記念を頂いて。 ○信太英樹会員

※夫人誕生、結婚記念を頂いて。 沢田広志会員

※令和3年10月21日で結婚60年度となります。小粒のダイヤモンド婚です。 ◎小林公民会員

※会員誕生を頂いて。 飯澤明彦会員

※会員誕生、創業記念を頂いて。 ○造田孝志会員

※結婚記念を頂いて。 湯浅克己会員

※赤い羽根共同募金おつかれ様でした。ご協力ありがとうございました。 西川公平会員

※みなさま、赤い羽根募金活動おつかれ様でした。 田中敏文会員

※卓話をさせて頂き。 松原重俊会員

※会員誕生を頂いて。 香山素子会員

本日のニコニコBOX 41,000円 累計額 393,000円

☆は超高額、◎は高額、○は多額

※米山記念奨学会：目標	480,000円
本日	94,000円 累計 263,000円
※ロータリー財団：目標	6,000\$
本日	100\$ 累計 2,300\$

本号担当：北谷好文 次号担当：北谷好文

事務局：砂川パークホテル内 (TEL0125-52-3989)

会長 永森直弘 幹事 山田大

欠席届は前日昼迄に石家裕二SAAまで (TEL52-3191・FAX54-0191)